

第15回 神奈川県移動性(モビリティ)向上委員会

委員会の検討経緯と論点

これまでの検討経緯
今回の論点

平成27年10月30日

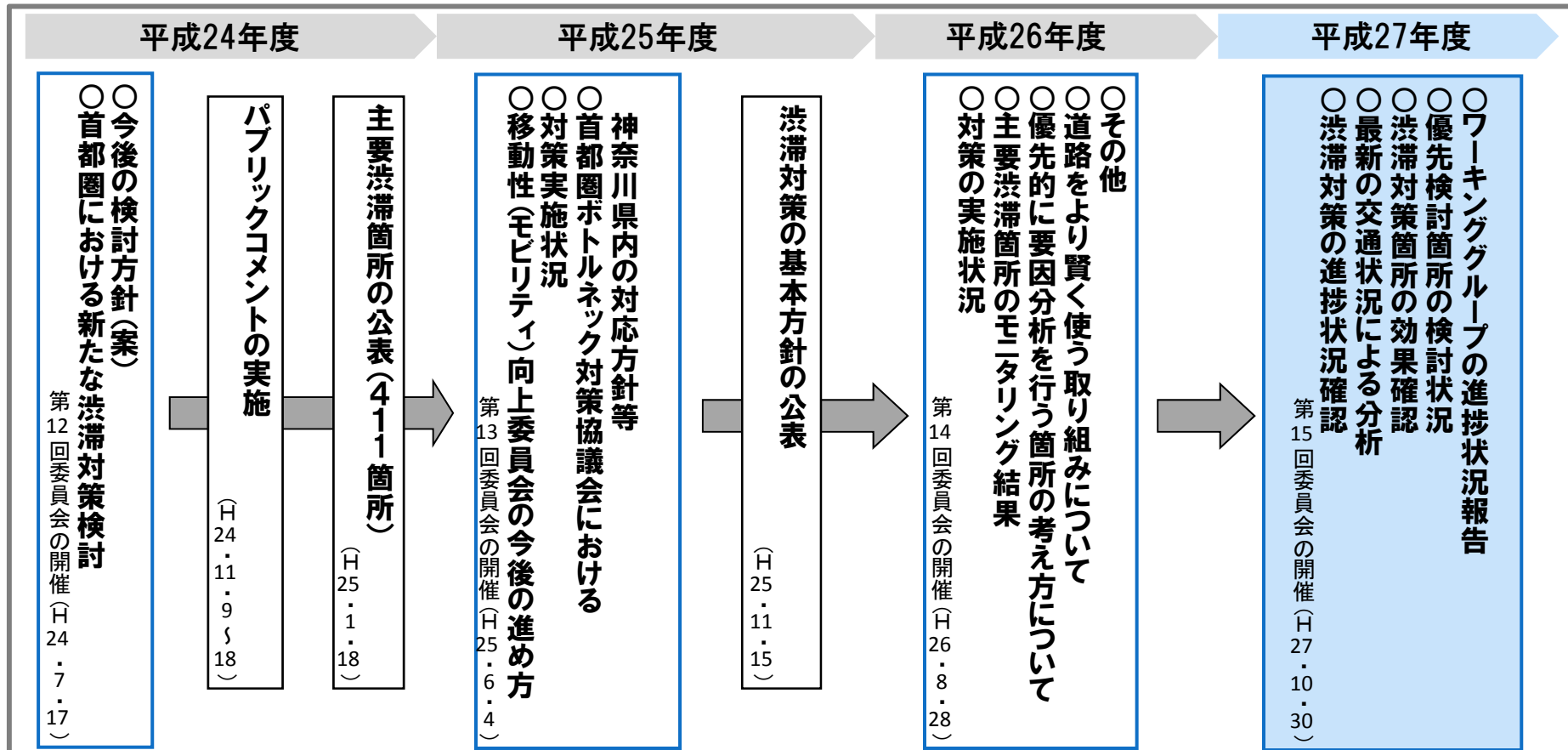
1 委員会の検討経緯と論点

1-1 これまでの検討経緯

【渋滞対策の方針】

- 「今後の高速道路のあり方中間とりまとめ(高速道路のあり方検討有識者委員会、平成23年12月)」において、効率性を阻害する渋滞ボトルネック対策の重要性が指摘されたこと
- 社会資本整備審議会道路分科会基本政策部会においても、渋滞対策を含め、道路利用の適正化が議論されていること
- 交通観測技術の進展・普及により、道路交通状況の詳細に係るデータが容易に取得可能となるなど、観測環境に大きな改善が見られること等を踏まえ、課題の状況を継続的に把握・共有するとともに、新たな交通観測データの分析等により効果的な渋滞対策の推進に取り組むこととした。

【取り組みの流れ】



1 委員会の検討経緯と論点

1-2 今回の論点

○これまでの取り組みを踏まえて、以下の点について意見交換を実施していただきたい。

【議題】

- ① 渋滞対策の進捗状況確認
 - ・神奈川県内の主要渋滞箇所の対策進捗状況を確認
- ② 最新の交通状況による分析
 - ・最新のプローブデータによる指標との適合状況(モニタリング結果)
- ③ 渋滞対策箇所の効果確認
 - ・渋滞対策により改善が見込まれる箇所等についての見直しの方針
 - ・圏央道の開通による効果確認
 - ・前回委員会で効果確認した箇所の経過観察、平成26年度完了事業の効果確認
- ④ 優先検討箇所の検討状況
 - ・優先検討箇所の考え方と選定方法
 - ・優先検討箇所における渋滞要因分析と対策の方向性
- ⑤ ワーキンググループの進捗状況報告
 - ・中央道渋滞ボトルネック検討ワーキンググループ開催概要
 - ・神奈川県東名軸渋滞ボトルネック検討ワーキンググループ開催概要